

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1983 2・3

1983 JID 新春交礼会報告

年が明けて新春交礼会を催してからもう、3月の期末になり、当日参加された会員の方々はじめ皆様お忙しいことと存じます。

さて、1月18日午後6時、東京新宿の大成建設(株)——賛助会員——の「談話室D」で行われた交礼会のご報告をいたします。

「談話室」は新宿センタービル52階にあり、夜ともなれば大東京の素晴らしい遠景、近景が楽しめる場所です。

まず、会は山口勇次郎総務委員長の開会のことばに始まり、三輪理事長の年頭に当っての挨拶がありました。本年は特に協会創立25周年の年にあたり、会員一人一人が協力して意義ある年としたい、そのための記念事業も効率よく運営するよう計画して、会員のご協力を望みたい」と結ばれました。また、言葉を続け、会員の川崎浩氏が昨秋の藍綬褒章を受章されたことに対し、協会を代表して祝詞を述べました。

次に来賓の方々のうち通産省検査デザイン課の安喰茂氏と、同省住宅産業課の本杉五郎氏の両氏に祝詞を賜りました。安喰氏からは日頃のデザイン行政と当協会への期待について、また本杉氏からはインテリア産業協会の法人化が進行中など、関連業界、団体に協力と対話を更に積極的にしたいということが中心になりました。

目 次

● 1983 JID 新春交礼会報告	1
● 57・第6回理事会議事録	3
● 昭和57年度ブロック別デザイン会議出席報告	4
● 「インテリア大賞」設定きまる	5
● 第10回国井喜太郎産業工芸賞きまる	6
● 川崎浩さんの藍綬褒章を祝う会	7
● 新入会員歓迎と親睦の集い報告	7
● 58年度文芸美術健保案内	7
● インテリアコーディネーター育成の教科内容	8
● 会員の消息	12
● 会員の移動	14
● 事務局短信	16

引き続き協会を代表して三輪理事長より川崎氏により記念品(金銀杯)が贈られ、会員を代表して総務委員竹森聖子さんから花束贈呈となりました。

名誉理事の豊口克平氏からも、氏自身の手になる香港ヴィクトリアピークよりの風景画の一幅が心のこもったものとして贈られ、いずれも満場の拍手を浴びました。

次いで理事長再び立ち、受賞を機に川崎氏より協会への大きな寄附があったことを報告し、その目録が参会者の前に披露されました。

川崎氏の答辞に先立ち、関西支部より遠路出席された迎井夏樹氏から先輩川崎氏の知られざる側面を含め氏のプロフィールとデザイン一筋のキャリアが語られ一同に感銘を与えました。川崎氏の答辞は川崎氏らしく簡明でしたが、受賞の感激に溢れたものでした。



会は引き続き新入会員、賛助会員(文末参照)の紹介と各自の短かい挨拶が行われました。漸く、乾杯となり、九州支部中川理事の音頭により乾杯となり、一同ほっとして歓談に入りました。会場は副都心52階ということもあり、抜群の夜景を楽しみながらあちこち、沢山の輪ができました。久しぶりの顔顔顔という会員も多く、話が弾んでいました。総務委員の大和宏氏の尽力で会場が確保

できただけあり、大成建設殿の設営は酒肴を含め美事なものでした。

会も後半になり、楽しみな趣向、恒例の福引きが西沢、平井両総務委員が進行係となり始まりました。昨年までは番号札でしたが、例年沢山の景品寄贈が賛助会員をはじめとして集まるので、今年は壁面アミダクジとしたものの、参会者多数で声を溜らしての大奮闘でした。特賞とも云うべき豊口画伯の水墨画は賛助会員の田島応用化工欄に当たり、喜びの浅香平太郎氏より披露されました。

楽しい2時間はあっという間に過ぎ、閉会の辞は泉副理事長でめでくられました。会員の皆さん、本年もがんばりましょう。(総務委員会 合田正甫)

●追記で失礼ですが、文中以外の来賓の方々、また、関東支部会員以外の会員、新入会員、賛助会員のご出席は以下の通りです。(順不同、敬称略)皆様ご出席ありがとうございました。(事務局)

①ご来賓

- ・通商産業省住宅産業課 藤田課長補佐
- ・(社)日本パッケージデザイン協会 青木理事長
- ・日本グラフィックデザイナー協会 藤本事務局長

②地方会員(カッコ内所属支部)

- (関西) 石川四郎、川崎浩、加藤礼三、迎井夏樹、奥宮守
- (九州) 中川千年
- (中部) 松本政雄、宇賀敏夫

③新入会員

並川世平

④賛助会員

- 欄青島商店 青島賢治(代理)
- 欄内田洋行 近藤明夫(代理)
- コクヨ欄 田中兵衛
- 欄コトブキ開発設計 鈴木文彦ほか
- 欄コスガ 榎田 均
- 欄サンゲツ東京店 奥村和明(代理)
- 欄商 園 藤原義弘ほか
- 住江織物欄東京支店 細井一夫
- 西和インテリア欄 肥田 武
- 大成建設欄インテリアデザイン室 宮本孝一
- 田島応用化工欄営業開発室 浅香平太郎

榑天童木工 桜井久喜
常盤レザー工業榑 石坂昌之
榑トミタ 富田順三
日本インテリア榑五反田支店 晴山洋至
ホウトク販売榑 大溝 浩ほか
ヤマギワ榑 角田正信

57・第6回理事会議事録

日 時 昭和58年1月18日(火) 1:30~4:00 PM

場 所 J A A 1 階ホール

出席者 理事長 三輪正弘

理 事 宇賀敏夫、川上信二、川崎 浩、
島崎 信、乗見健三、中川千年、
森谷延周、山品 元、渡辺 優

委任状 泉 修二、尾上孝一、富田卓司、
中村圭介、樋口 治

監 事 渡辺 力

はじめに議事につき三輪理事長より説明あり。また、
新年にあたり挨拶が行われた。

I. 報告事項及び雑件

① 新選考委員決定

去る12月14日、選挙管理委員会(委員長 工藤広
忠会員)により開票が行われ、58年4月1日~60年
3月31日を任期とする新しい選考委員の顔ぶれが決
定した。当選順位により以下の10名を、事務局長よ
り代理報告。

三輪正弘、中村圭介、渡辺 力、長 大作、
川上信二、白石勝彦、泉 修二、垂水健三、
渡辺 優、島崎 信

② 1983年J I D新春交礼会について

1月18日東京にて予定されている恒例の新春交礼
会は各支部より合計80名を超える参加が見込まれ、
通産省及び友好団体よりも出席が予定されている。
また、川崎浩会員の57年度秋の藍綬褒章受賞の祝賀
も併せ行われる予定。

③ 川崎浩会員より寄附金

同氏より藍綬褒章受賞を機に、12月17日付で金20
万円の寄附がされた旨、事務局長より披露された。
席上、目録の贈呈が同氏より為され、挨拶があり、
三輪理事長より感謝の言葉が述べられた。出席者拍

手。

尚、1月18日夕刻の新春交礼会でも披露される予
定。

④ 財政報告

① 一般財政報告について事務局長より資料に基き
報告された。会費納入については正、賛両会員に
ついては12月31日現在でそれぞれ72%、90%の納
入率である。これに比較して準会員は48%と極端
に低い。これが対策に苦慮している旨、説明が加
えられた。

② 事業支部の財政報告について、中間収支の資料
が事務局より提出され、説明が加えられた。

支部事業の規模は財政面で見ると限り拡大してい
る。関東は参加会費が前年度より大きく伸びてい
る。収支も良好。関西も同様ながら若干収支は出
超となっている。九州は展示会関係で大きく出超。
本部財政より更に支援が必要となる模様。中部は
収支良好である。

⑤ 協賛関係

以下の2件につき理事会はこれを了承した。

① 主催：(財)店舗システム協会

「'83ジャパンショップ記念国際シンポジウム」
58.3.8~10(東京)

② 主催：日本経済新聞社、テレビ大阪

「ショップ'83関西総合店舗ショー」
58.7.22~26(大阪)

⑥ インテリアコーディネーターの資質、能力、教科 内容

57年12月、通商産業省住宅産業課より上記報告書
が発表された。これは「インテリア産業対策振興対
策委員会中間報告」(JID NEWS 1982.6~9月
掲載)の補綴版とも云うべきものである。B4版17
ページ(がり版)で、これのコピーをJID NEWS
に転載することとする。

⑦ インテリア産業協議会の最近の動き

同会のレリーズが資料として提出された。主な内
容としては'82トータルインテリアショウの概況報告。
インテリア産業経営者セミナー実施報告。各委員会
の活動状況などである。

II. 議 題

① 各委員会の活動状況と今後の計画

資料により選考、総務、広報、渉外、事業、教育、業務の各通常委員会につき担当理事および事務局長から説明が行われた。特に機関誌発行は春号、秋号のようにたとえ年2回刊としても内容、時期等きちんとしたものにする、ということが確認された。

② 創立記念事業に対する意見

25周年記念事業は、程度、規模等10年毎の記念事業よりライトウエイトに、あつエネルギーが散漫にならないよう考える。

① 記念事業実行委員会の組織作りの提案が、去る1月17日の委員長連絡会の席上出ている。「動ける委員会」が望まれるので、例えば各委員会の副委員長格の会員の参加も得、正副理事長、事務局長なども含んだ委員会構成はどうか。

② インテリアデザイナーを取りまく内外の業界動向をよく踏まえ、対外的よりもむしろ内部的に「テーマ」をはっきりさせた上で事業を行うことが望まれる。

③ 中味のあるシンポジウム、研究会、パネルディスカッションなどがよい。

④ 事業実施が結果的に内部充実が図られるような企画が望まれる。

⑤ お祭りはだめである。

・以下は報告。

⑥ JDD(日本・デンマーク・デザインセミナー)実行委員会

デンマーク大使館よりの返事が現在まだ出ていない。5月下旬のIFI総会出席前でもあり、次回理事会で更につめた内容を報告したい、以上、川上理事より報告。

⑦ 出版特別委員会

永原委員長の代りに三輪理事長より次のように報告された。テーマとの関連もあり、各支部からも担当委員として参加してもらう方法を考えている。これに対し、川崎理事から、組織拡大の方向を望みたい旨賛成意見が述べられた。

⑧ 昭和58年度の総会準備について

日時については5月20日(金)及至17日(火)の(案)が出た。例年より10日程スケジュール的にタイ

トなので、効率よい準備で臨むこととなった。事務局にて計画(案)、予算(案)を作成、正、副理事長、事務局長で煮つめた上、次回理事会に上程する。

④ 予備金支出について

九州事業支部では11月に作品展、講演会を催すに当り、本部より事前に20万円の予備金支出を行ったが、結果的に支部会員の拠出限度を超えた為、中川理事より再度の本部支援が要請された。理事会は討議の結果、予備金より8万円の支出を承認した。但し、九州支部では準会員比率が高いので、今後、正会員への資格変更を積極的にすすめることが提議された。また、関西支部へも同様2万円の支出が承認となった。

⑤ 準会員対策について

定款第5条、会員規定第2条に関する準会員について、次回理事会の議題とすることを決定。

⑥ 入退会関係

・入 会

氏 名 (社 名)	種別	推 薦
並川世平	正会員	中村圭介、山品元
象印マホービン(株)	賛助	合田正甫

・退 会

氏 名	種別	
小野 隆	正会員	
佐野隆夫	"	

以上の件につき資料に基き入退会の審議が行われいずれも承認された。

次回は58.4.1(金)の予定。 以 上

昭和57年度ブロック別デザイン会議 出席報告

関東甲信越静岡ブロック

「会議」というより「報告会」といった方がふさわしい集り。山品事務局長の報告にもある通り、国のデザイン行政、東京を始めとする1都10県のデザイン振興施策、デザイン団体におけるデザイン振興の実施状況の報告が中心であった。

一つの組織から5分程度ということからすれば、やむを得ないことかも知れないが、折角の機会でもあり、少なくとも、出席者の話の中から、いくつか絞って議論できると、より効果的な集りとなろう。

それには、予算上のこともあるかも知れないが、午前・午後を費やす「1日の会議」位を考える必要がありそうだ。そして、あらかじめ用意された「スライド」程度は使用して、もっとビジュアルな内容にしてはどうか。

多忙な中をさいて、大切な「デザイン行政、デザイン振興」について語る集りなのだから。

JIDニュース前号の出席報告にも、同様の指摘があったことを考え合わせると、いずれ、デザイン5団体あたりと協議して、主催者側に改善の要望を提案してはどうか
(理事・森谷延周)

日時 昭和58年2月18日(金) 1:30~5:00 PM

場所 東京・大手町合同庁舎3号館

6F 東京通産局大会議室

会議は定刻に始められた。東京通産局商工部次長鈴木義久氏、通産省検査デザイン課長横江信義氏(代理としてデザイン奨励班長前川幸彦氏)のそれぞれ挨拶の後、以下の順序で議事に移った。

<議事>

(1) デザイン行政の現状について

(デザイン奨励班長 前川幸彦氏)

デザイン行政の重要性を更に認識した上で、国内外に互り、広範な施策を進めている。

(2) 地方産業デザイン開発推進事業について

(財)日本産業デザイン振興会

理事 業務第一部長 (高藪 昭氏)

各産地開発体制の整備を基盤として、高付加価値の商品を創出するためのデザインを更に産地、企業に定着させるよう事業を推進している。

(3) 各都県市におけるデザイン振興施策について

(各都県市担当者)

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、新潟県、長野県、山梨県、静岡県

(4) 各団体等におけるデザイン振興の実施状況について

・日本貿易振興会の事業実施報告

・日本生活用品振興会、日本陶磁器意匠センター、日本機械デザインセンター

・JIDA、JID、JCDA、JPDA、JAGDA

(5) 質疑応答

(6) 講演：地場産業のかかえる問題点とデザイン指導の方向性について

インダストリアルデザイナー 鈴木庄吾

(4)におけるJIDの活動状況報告は山品事務局長が行った。ただ、持時間が5分間で、出席者約70名、大会議室でロの字型のデスク配置など向うの人の顔がかすむ中、マイク片手の報告であった。従って(5)の質疑応答は省略となる等、会議の進行と設営に一工夫欲しいところ。会議終了後、庁舎内の別室に移り、(5)を補う意味もあり、ささやかなパーティを行い、各都県の方々との交流を深めた。
(事務局)

「インテリア大賞」設定きまる

一出版特別委員会一

当協会の事業として重要な柱である出版事業、“日本のインテリア、第4号もいよいよ佳境に入る。本年1月19日を皮切りに2月8日、そして2月23日と内容の充実とより良い日本のインテリアのためにと委員会(永原、今崎、小寺、尾上、新川、中田)は白熱の度を増し会は深更にも及ぶ。

そして、第3号の経験も踏まえ、前回試みられなかった多くの企画を、或いは新しく翻案をしてと。その一つに賞の設定があった。

それは、委員会の開かれる毎に話題になったこと。そして、委員長と理事長との膝をまじえての細かい話し合い。留意事項や注文など。話しは進む。

そして、委員会にて委員長の報告と決意を述べての提案。衆議一決。「設定する」と。

委員会は盛り上がる。作品の公募に際し、賞のあるなしはそれなりに影響するもの。それではどんな内容、どんな位置づけで、と。委員長の説明と提案は続いた。

それは、出版を記念しての賞であること。協会の選考委員会とは関係なく、出版特別委員会にてとりしきるこ

となど。

名称は「インテリア大賞」にしよう。

点数は、賞金は、賞状かなど細部については、早めに
つめてゆこう、と。

次に、作品を幅広く抽出するために「コレスポンデント」をつくろう。所謂、支部通信員として当委員会の欲しい情報を出来るだけ正確にとらえたい。特に、地方に埋れ且つかって発表されたことがないが日本のインテリアとして値するものがあるのではないだろうか。

そして、出来るだけ正確な情報をきめ細かく抽出してゆきたい。会員の皆様には、益々の御協力をお願い致します。

また、広告についても委員（今崎）を長とする委員会を発足させ、編集と同時進行の形で進めてゆこう。

このように、当委員会は第3号発刊の経験者3名に新たなメンバーも加えて、編集企画等の進行に応じて逐次、委員を追加し前号に負けじ劣らじの内容と致すべく努力を致しております。

今後の御声援、御協力をお願いする次第。

乞う 御期待。 （文中敬称略 文責・尾上孝一）

インテリアデザイン教育シンポジウム予告

J I D教育委員会では、本年度第1回インテリアデザイン教育シンポジウムとして『インテリア、デザイナーになるには何を学ぶべきか』をテーマに、4月下旬を開催目標に計画を進めています。より多くの方の参加と、御意見を期待しています。

日時、場所その他詳細は決定次第お知らせ致します。

教育委員会

第10回国井喜太郎産業工芸賞きまる

（財）工芸財団（豊口克平理事長）では、昭和57年度の受賞者を下記のように決定した。

昨年の喜多俊之会員に続いて、J I Dからは永原浄会員が賞の一人に選ばれている。今回は戦後のデザイン界に大きな足跡をのこされた勝見勝氏に特別賞が贈られている。

受賞者以下の各氏

（特別賞）

勝見 勝氏 ・近代デザインの発展に寄与したデザイン
評論、著作、国際活動

（賞）

高木 晃氏 ・伝統的漆器産地を対象とした新しいデザインにより新製品の開発に寄与した

永原 浄氏 ・照明器具デザインを通じて日本の照明産業界の振興に大きな成果をあげた

森島 紘氏 ・手すき和紙の技術を現代生活に応用したデザインの業績

中村次雄氏 ・プラスチックの材料を通じその技術とデザインの発展に寄与した業績

尚、賞の贈呈式と記念パーティは3月24日、東京・平河町のマツヤサロンで行われ、J I Dからも三輪理事長などが出席することになります。（事務局）

新年懇親会を開催

— 中部支部 —

1月20日、午後6時半から名古屋駅前にあるキャッスルプラザホテル2階にて、安藤会員のセッティングで行なわれた。

出席者は、宇賀、林、堀内、早川、安藤、八代、田村の7名であったが新春講演会等の話を交え、希望の多かった北京ダックをメインにビール、ジュースの他老酒2本もあけ、豪華な料理に舌づつみをうち、なごやかな内に話がはずんだ。

松本名誉会員と関東光藤会員は、時間の都合がつかず出席出来なかった事は残念である。

当日のメニューを最後に書いておきます。

菜 単 （6000円会費）

四珍冷葷（冷菜盛合）	宮爆蝦仁（海老辛炒め）
魚翅羹（フカヒレスープ）	紅焼豆腐（豆腐の醤油煮）
酥炸兩樣（揚物二種）	什景炒飲（チャーハン）
北京烤鴨（北京ダック）	杏仁豆腐（中国風みつ豆）
菜花鷄丁（鶏肉と野菜炒め）	

次回は早川会員のセッティングにより、トンチンパティを3月に開く予定です。是非ゴキタイ下さい。

（中部：田村悠）

川崎浩さんの 藍綬褒章を祝う会

当会理事の川崎浩氏を祝う会が2月3日、節分の日に大阪国際ホテルで、270名の多数の参会者を集めて楽しく開かれた。この日は彼のバースデーにもあたり、しかも彼の結婚披露をかねて開かれた。彼は晩婚をてれて披露宴を開いてなかったのである。

結婚行進曲につれて、56年に銀婚式を迎えた川崎夫妻が現われ、爆笑のうちに会が開かれた。(財)大阪デザインセンター理事長新井真一氏が発起人代表として祝詞があり、迎井会員の司会で会が進んで行った。祝詞はJID理事長三輪正弘氏、大阪芸大学長堀江駒太郎氏、(株)大丸常務取締役高島淳治氏の三氏によって行なわれ、乾杯は建築家の浦辺鎮太郎さんによってなされた。料理は土佐出身の川崎氏に合わせて、鰹のたたきや佐鉢料理も加えられた。酒は土佐の司牡丹も加わり宴が高まったところで、参議院議員の森下泰氏より海軍の同輩として、又デザインに理解ある議員として祝詞があり、旧制堺中学時代の恩師や同輩による校歌もうたわれ、東京から駆けつけた三輪正弘氏などデザイン界からの祝詞もあいつい



だ。迎井会員より藤川会員発案のデザイン神社の神主に川崎氏になっていただくという提案も紹介された。祝電の紹介、記念品の贈呈とつづき、270名中10名余の女性の参加者の中から佐々木会員他の花束贈呈が行なわれ、大丸の近藤氏の書の贈呈の後、年男年女のいのしし年のはなばなしい豆まきが行なわれたが、24才のめすいのししを呼ぶのに世話人は苦勞した。また豆は四升。最後に樋口理事が世話人代表としてあいさつがあり、新郎新婦退場よろしく発起人、世話人一同が出口にならんで参

会者を送ったのである。(関西：藤川宏允)

新人会員歓迎と親睦の集い報告

関東事業支部1982年最後のイベントとして忘年会を兼ね新入会員との親睦会を12月11日(土)に青山のレストランで行われた。

忘年会としてはここ何年か行われていなかったこともあり出足はきわめて悪かったが当日はレストランがいっぱいになる程の盛況ぶりであった。(45名の参加があった)

山口勇次郎氏の乾杯の音頭で始まり、食事をしながら映画を観る場もたれた。

岡秀之氏(JAGDA理事)の監修による「包」という映画がそれである。しばし一同静かに映画に観入って感心するやら、懐しむやらで楽しみ、アンコールもあり終了の後再上映される程であった。

その後、私の司会で「中年orおじん度を計るゲーム」が行われ、光藤俊夫氏他の皆さんの若さに一同「ルンルン」気分で楽しんだ。

最後に西沢圭三氏の手拍子と挨拶でしめくくられた。

途中事務局より関西支部会員の川崎浩氏の藍綬褒章受賞の報告があり、会員の受賞を参加した皆さんで喜びました。

今回も賛助会員の参加とご夫人同伴の方もいて会に花をそえ、又、あまり会に参加なさらない会員も数多く集まった。

今後も皆様の会ですから気楽に参加されることを願い、その様にできる場をどんどん企画していきたいと思います。(関東事業支部委員：吉良ヒロノブ)

58年度文芸美術健保案内

会員の中でも、文芸美術健保の有利さから、毎年加入する方々が増えて来ています。新年度にあたり、組合規約の一部改正(育児手当金、葬祭費の支給額)があり、新規事業として組合員が入院した時は、見舞金を支給することになりましたのでお知らせします。(58年4月1日より改正)

下表でもお分りのように、本年は保険料の改訂がありません。従って、一般健保より更に有利だと思います。
国民健保で掛けている会員で、特に家族数の少ない方は
ご検討下さい。

末表のように、家族数や収入を勘案して、一般の国民
健保より有利になる方は、文芸美術健保に加入されるこ
とをおすすめします。

①葬祭費：組合費

加入後満5年以上 80,000円(10,000円増額)
同 10年以上 110,000円(10,000円増額)

②育児手当金

1件につき 60,000円(20,000円増額)

③入院見舞金

加入後1ケ年を経過した組合員を対象

入院1日につき 1,000円 50日間を限度

(入院日より6日間と退院日を除く)

東京都23区保険料と組合保険料の比較表

(58.4.1)

年 収	東京都23区保険料年額 (前年度住民税 $\times \frac{107}{100} + 1$ 人につき 9,000円) (最高限度額24万円)								組 合 保 険 料 年 額
	200万円		300万円		400万円		500万円		組合員(月額) 7,800円
控除が認められる 必 用 経 費	40 %	30 %	40 %	30 %	40 %	30 %	40 %	30 %	家 族 (月額) 1人 3,800円
単 身 者	円 50,570	円 64,580	円 106,460	円 135,350	円 174,960	円 223,120	円 230,620	円 260,000	93,600円
家 族 1 名 (世帯人数2名)			85,960	112,380	144,890	191,970	215,510	260,000	139,200
家 族 2 名 (世帯人数3名)						171,070	194,620	255,760	184,800
家 族 3 名 (世帯人数4名)							173,830	232,680	230,400
家 族 4 名 (世帯人数5名)								211,900	276,000

(注) 太線内に該当する方は、文芸美術健保の方が収入に拘わらず一率料金のため、トクであることになります。

インテリアコーディネーター資質・能力及び コーディネーター育成のための教科内容

一通産省住宅産業課一

同課ではインテリア産業振興対策委員会に委嘱して先に「中間報告書」を発表した(JID NEWS 1982.6月～9月号に3回に互り既報)が、このほど、インテリア
コーディネーターの育成に、どのようなカリキュラムが
考えられるかに関して、表題のような「中間報告書」そ
の2とも云うべきものを発表した。内容が長文なので、
以下JID NEWSに3～4回に互りその内容の詳細を報
告していきます。

・報告順序

I. 項目一覧

1. インテリアコーディネーターの資質・能力

2. インテリアコーディネーターの育成のための教 科内容

II. 各項目の内容列記

I. 項目一覧

1. インテリアコーディネーターの資質・能力

A インテリア販売

1. 商 品

- (1) 商品知識
- (2) 商品流通
- (3) 商品評価

2. 販 売

- (1) 販売の基本
- (2) 販売事務
- (3) 販売技術

3. 情 報

- (1) 情報の基本
- (2) 情報の種類
- (3) 情報の収集
- (4) 情報の活用
- 4. コンサルティング
 - (1) コンサルティングの基本
 - (2) コンサルティングの技術
- 5. 積 算
 - 積算及び見積
- B. インテリア基礎
 - 1. インテリア構成材
 - (1) 定義及び分類
 - (2) 性能及び施工
 - 2. 住宅の構造
 - (1) 材料及び構造
 - (2) インテリア施工
 - (3) インテリア材料
 - 3. 室内環境
 - (1) 光と色
 - (2) 音
 - (3) 熱と空気
 - 4. インテリア計画
 - (1) 空間計画
 - (2) 環境計画
 - (3) 設備計画
 - 5. 表現技法
 - (1) 役 割
 - (2) 基礎知識
 - (3) 実務能力
 - 6. 関連する法規・法令
 - (1) 建築及びインテリア関係
 - (2) 安全関係
 - (3) 品質表示及び規格関係
 - (4) 税制関係
 - (5) その他
- 2. インテリアコーディネーター育成のための教科内
容
- A インテリア販売
 - 1. 商 品

- (1) 商品知識
- (2) 商品流通
- (3) 商品評価
- 2. 販 売
 - (1) 販売の基本
 - (2) 販売事務
 - (3) 販売技術
- 3. 情 報
 - (1) 情報の基本
 - (2) 情報の種類
 - (3) 情報の収集
 - (4) 情報の活用
- 4. コンサルティング
 - (1) コンサルティングの基本
 - (2) コンサルティング技術
- 5. 積 算
 - (1) 積算及び見積
 - (2) 積算業務
- B インテリア基礎
 - 1. インテリア構成材
 - (1) 定義及び分類
 - (2) 性能及び施工
 - 2. 住宅の構造
 - (1) 材料及び構造
 - (2) インテリア施工
 - (3) インテリア材料
 - 3. 室内環境
 - (1) 光と色
 - (2) 音
 - (3) 熱と空気
 - 4. インテリア計画
 - (1) 空間計画
 - (2) 環境計画
 - (3) 設備計画
 - 5. 表現技法
 - (1) 役 割
 - (2) 基礎知識
 - (3) 実務能力
 - 6. 関連する法規・法令

- (1) 建築及びインテリア関係
- (2) 安全関係
- (3) 品質表示及び規格関係
- (4) 税制関係
- (5) その他

II. 各項目の内容列記

1. インテリアコーディネーターの資質・能力

A インテリア販売

1 商 品

(1) 商品知識

- ① 主要インテリアエレメント（カーテン、カーペット、家具、壁、装材、照明器具等）、建材、住宅設備機器等の種類、素材、構造、機能、性能、規格等についての基礎的な知識があること。
- ② 商品の実用面での安全性、保守、手入れ等についての基礎的な知識があること。
- ③ 商品に関する専門用語を理解していること。

(2) 商品流通

- ① 主要インテリアエレメント、建材、住宅設備機器等の商品流通に関して理解していること。
- ② 商品の納期及び加工、工事等の工数等についての知識があること。

(3) 商品評価

- ① 主要インテリアエレメント、建材、住宅設備機器等の商品評価の方法についての基礎的な知識があること。
- ② 商品を選択する能力があること。

2 販 売

(1) 販売の基本

- 販売の意義並びに販売業務の範囲及び内容について理解していること。

(2) 販売事務

- ① 帳票の種類及びその取扱い方、文書作成、契約業務等についての基礎的な知識及び能力があること。
- ② 割賦販売、信用販売等についての基礎的

な知識があること。

(3) 販売技術

- ① 顧客心理を理解し、接客技術、顧客管理等についての知識及び能力があること。
- ② 店頭、店内、売場等の管理についての知識及び視覚伝達（ビジュアルプレゼンテーション）の能力があること。

3. 情 報

(1) 情報の基本

- ① 情報の意義、範囲等について理解していること。
- ② 一次情報、二次情報、一般情報、特定（プロジェクト）情報等に関する基礎的な共通概念を理解していること。
- ③ 情報の整理、検索等についての知識及び能力があること。

(2) 情報の種類

- 製品（商品）、顧客、クレーム、法規等の各種情報についての知識があること。

(3) 情報の収集

- ① 情報の収集、分析、評価、管理等の方法についての基礎的な知識があること。
- ② 情報機器、情報機関等についての基礎的な知識があること。

(4) 情報の活用

- ① 顧客、仕入先、メーカー等への情報提供の方法についての知識及び能力があること。
- ② 情報を、職場での他の業務で活用する方法を理解し、また、その能力があること。

4 コンサルティング

(1) コンサルティングの基本

- ① コンサルティング業務の内容、範囲等について理解していること。
- ② 問題把握及び問題解決の方法について理解することができ、かつ、相談業務に関する処理能力があること。

(2) コンサルティング技術

- ① 購買者心理、消費生活一般（衣生活、食生活、住生活）、家庭経営等についての基

礎的な知識をもち、これを相談業務に利用
する能力があること。

② 顧客の要求を、図示することによって、
確認する能力があること。

③ 提案の手法、説得話法等についての知識
及び能力があること。

5 積算

積算及び見積

① 積算及び見積について理解し、かつ、計
算能力があること。

② 図面、仕様書の内容を理解する能力があ
ること。

B. インテリア基礎

1 インテリア構成材

(1) 定義及び分類

① 各種インテリア構成材の種類及び特徴に
ついての基礎的な知識があること。

② 各種インテリア構成材と生活とのかかわ
り合いについて理解していること。

③ 各種インテリア構成材の使用目的を理解
し、分類、選別する能力があること。

(2) 性能及び施工

① 各種インテリア構成材の性能を理解し、
その維持管理についての知識があること。

② 各種インテリア構成材の施工方法につ
いての基礎的な知識があること。

③ 主要なインテリア構成材の規格及び仕様
について理解し、経済的な評価及び選択を
行う能力があること。

2 住宅の構造

(1) 材料及び構造

① 建築構造の歴史についての知識があるこ
と。

② 木構造、組積構造、鉄骨構造、鉄筋コン
クリート構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造、
工業化工法等についての基礎的な知識があ
ること。

(2) インテリア施工

① 施工の概要を理解していること。

② 床、壁、屋根、天井、開口部、階段等の
構造及び施工についての基礎的な知識があ
ること。

(3) インテリア材料

内装材料及び特定機能材料（断熱材、吸音
材、防火材等）についての基礎的な知識があ
ること。

3 室内環境

(1) 光と色

① 眼と光と色の関係について理解している
こと。

② 照明の配光及び照度並びに照明器具につ
いての基礎的な知識があること。

(2) 音

① 聴覚と音の関係及び遮音、吸音について
の基礎的な知識があること。

② 音と空間との関係及び音の演出効果につ
いての基礎的な知識があること。

(3) 熱と空気

① 体感気候について及び断熱、保温につ
いての基礎的な知識があること。

② 住宅の通風、換気及び空調機構について
の基礎的な知識があること。

③ 省エネルギーについての基礎的な知識が
あること。

4 インテリア計画

(1) 空間計画

① 建築について及び人間工学についての基
礎的な知識があること。

② 住空間におけるインテリア構成材の基礎
的な配置及びコーディネートを行う能力が
あること。

(2) 環境計画

環境造形についての基礎的な知識があるこ
と

(3) 設備計画

① 設備についての基礎的な知識があり、そ
の取扱いを理解していること。

② 電気、給排水、衛生、ガス供給、冷暖房、

空調等の設備計画についての基礎的な知識があること。

5 表現技法

(1) 役割

- ① 表現の目的及び伝達効果について理解し、提示する能力があること。
- ② 図面、図書及び資料の収集、整理、保管及び利用についての基礎的な知識があること。

(2) 基礎知識

- ① 表現技法の種類、表現材料、用具等についての基礎的な知識があること。
- ② 平面画法、投影画法等の基礎製図の概要について理解していること。
- ③ 建築図面について概要を理解し、読図能力があること。
- ④ 専門用語及び慣用語を理解していること。

(3) 実務能力

- ① 各種のインテリア製図の内容について理解でき、かつ、簡単な製図表現ができる能力があること。
- ② 透視図の原理について理解し、これを応用する能力があること。
- ③ 関連図書、話法等を用い、計画の意図を提示する実務的な能力があること。
- ④ 素材、配色、色彩調和等についての知識があり、かつ、インテリア構成能力及び基礎的な表現能力があること。

6 関連する法規、法令

(1) 建築及びインテリア関係

建築基準法、消防法等についての基礎的な知識があること。

(2) 安全関係

消費者保護基本法、電気用品取締法、ガス事業法、労働基準法及び労働安全衛生法等についての基礎的な知識があること。

(3) 品質表示及び規格関係

家庭用品品質表示法、日本工業規格(JIS)日本農林規格(JAS)及び計量法等について

の基礎的な知識があること。

(4) 税制関係

物品税法についての基礎的な知識があること。

(5) その他

民法、借地法、借家法、都市計画法、土地区画整理法等についての一般的な知識があること。

次号につづく

会員の消息

◇ 狩野雄一

去る1月31日、自宅が全焼、現在アパートに仮住まいを余儀なくされています。協会からはお見舞いに行いましたが、会員有志のカンパを現在お願いしております。ぜひ事務局までお問合せ下さい。

(03-403-3649 事務局 山品 元)

◇ 鐘ヶ江茂則

'83年を迎え皆様お元気で過ごしてでしょうか。1月より事務所を移しましたので宜敷お願いします。近くにお越しの節はお立ちより下さい。

◇ 見野健治

3月22日～31日まで、大阪の今橋画廊にて油彩小品展(赤い煉瓦のある風景)を開催いたします。近代化の急速なテンポの中でビルの谷間に残された「赤い煉瓦造り」のたたずまいは、私の好きな情景のひとつです。残り少なくなったそんな風情を求めながら描きました20余景、是非ご高覧、ご高評賜われればと存じます。

◇ 喜多俊之・中村隆一・山内陸平

3月5日(土)～13日(日) アクシス・ギャラリーで、紙、不思議不思議いま日本のトップデザイナーが、紙と生活を企てる。ペーパー ナウ イン ジャパンを開催。紙は大いなる想像力です。それは多分、長い長い伝統によって培われた紙の存在感によるものでしょう。その紙を歴史の中に眠らせるのではなく、私たちの日常に新しい形で生かす、これが Paper Now in Japan の目指すところです。

紙を企てる26人の作家にご注目ください。

◇ 狩野雄一

拝復 このたび（1月30日）の火災に際し、さっそ
くご親切なお見舞いを頂戴いたしまして誠に有難度う
ございました。深夜の出火でございましたが無事に避
難できましたのは不幸中の幸であったと存じます。現
在近所の空室を借り過しております。焼け跡も皆様方
のお蔭で整理されなんとか再建の見当もつきましたの
でどうぞご休心のほど願ひ上げます。

◇ 中村圭介

小生 1月16日脚立から落ち第一腰椎を圧迫骨折し入
院。3週間程まったく身動きもならず、どうなること
かと思いましたが、幸い経過が良く、コルセットが出来
た2月22日に退院し、目下自宅療養中でございます。
コルセットで体を規制しているので前かがみになれず、
全治するのは5月頃になると思いますが、当面体をな
らす意味で半日くらい出勤し仕事を始めることになり
ました。お見舞、お励ましのお蔭でここまで元氣にな
りましたこと、心から御礼申し上げます。

◇ 嶋佐知子

1月28日、リビングショップ「ぎゃざりんぐ」をオ
ープンいたしました。電話番号も（486-9043 ヨ
ロコンデ、ハローと苦モナク呼んでみる）としました。
ぜひお出掛け下さいませ。
〒150 東京都渋谷区東2-23-14 白鳳堂ビル
（9:00AM~4:30PM、土日祭は休みです）

◇ 大山繁三郎

昨冬、大分お加減が悪かった大山先生でしたが、2
月に坂本支部長と一緒に御見舞いに参りましたところ
かなりお元氣になられて安堵いたしました。皆様によ
ろしくとのことでしたので、ご報告いたします。
（九州：溝口新）

◇ 川崎浩

先日は、ありがとうございました。
私、このたび藍綬褒章を頂きましたことも身に余る光
栄でございましたが、ご多忙のなか、私のために一タ
米をおさき下さいましてご光来を賜わり、親しくお言葉
を頂きましたことこそ、何物にもかえがたい喜びであ
り、感激でございました。
一河の流れ。一樹の蔭。不敏の私ではございますが、
このありがたい心の通い路を忘れることなく、今後と
も、精進をつづけたいと存じます。
幾重にも御礼申し上げますと共に、皆様のご繁栄を、
衷心よりお祈り申し上げます。

●ご訂正

◇ 明石一男

「JID NEWS」1月号消息欄に、明石一男さんの叙
勲をご報告いたしました。勲三等を勲四等としてし
まいました。明石さんにご迷惑をおかけしてしまい、
まことに申し訳ありません。慎んで訂正いたします。
（事務局 山品元）

新入会員の紹介

●新入会員

正 会 員

会 員 名 及 番 号	住 所 及 電 話
なみ かわ よ へい 並 川 世 平 (会員番号 518) 	< 勤 務 先 > ビクター工芸㈱ 横浜市旭区今宿東町 1532 〒241 (045) 951-2311~6 < 自 宅 > 横浜市旭区笹野台 7 の 19 〒241 (045) 361-6433

賛助会員

会 員 名		住 所 ・ 電 話 及 び ご 担 当 者
象印マホービン㈱	住 所	大阪市北区天満1-20-5
	担 当 者	〒530 (06) 356-2353 I・D 室長 清 家 生 進

●会員の移動

正 会 員

会 員 名	移 動 事 項	新
榎 原 豊 郎 (関東) P. 90	事 務 所	東京都港区南青山2-7-26 青山浜ビル 〒107 408-4201 ㈱ エヌ建築デザイン事務所
泉 正 之 (関東) P. 39	事 務 所 自 宅	電話 03-465-1916 電話番号取消し
秋 山 修 治 (関東) P. 35	自 宅	東京都江東区亀戸1-19-6-404
秋 田 嘉 正 (関西) P. 127	勤 務 先 自 宅	松下電器産業 ㈱ 電化デザインセンター 豊中市日出町2-2-8 〒561 (06) 331-2576 大阪市南区難波千日前6-17 〒542
嶋 佐 知 子 (関東) P. 70	事 務 所	A I F 企画設計 東京都渋谷区東2-23-14 白鳳堂ビル1F 〒150 486-9043 (直) 白鳳堂 499-1771 (代)
伊 藤 譲 二 (関西) P. 129	自 宅	守口市松下町22 若草第一マンション405号 〒570
宮 本 勝 康 (関東) P. 104	自 宅	新潟市水島町10-6 水島マンション302号 〒950
鐘ヶ江 茂 則 (関東) P. 55	事 務 所	東京都杉並区北3-4-21 〒166 03-336-3058
古 川 幹 英 (関東) P. 97	事 務 所 自 宅	株式会社ミックインテリアデザイン 東京都世田谷区下馬1-30-25 〒154 03-410-5242

準 会 員

松 下 澄 雄 (関 東) P. 200	勤 務 先 自 宅	千代田ビルサービス ㈱ 工事部 東京都品川区西五反田7-22-17 T.O. C本館1F7号室 〒141 03-494-5701 (代) 〒134
西 田 浩 人 (関 東) P. 199	勤 務 先	アデッソ・デザイン ㈱ 東京都港区南青山3-10-41 ジュエル青山802号室 〒107
中 沢 ひろし (関 東) P. 198	勤 務 先	アデッソ・デザイン ㈱ 東京都港区南青山3-10-41 ジュエル青山802号室 〒107
溝 口 雅 彦 (関 東) P. 200	自 宅	東京都杉並区西荻北4-37-12-204 〒167
今 村 俊 章 (九 州) P. 207	事 務 所 自 宅	福岡市城南区鳥飼5-2-18 グリーンマンション鳥飼102 〒814 福岡市城南区荒江団地45-303 〒814

賛 助 会 員

(株)リバコ P. 238	担 当 者 電 話 番 号	03-503-5301 (代)
ト ー ソ ー (株) P. 230	担 当 者	専務取締役 営業本部長 大 槻 秀 人

● 会 議

〔2月〕 7日 選考委員会 事業委員会
9日 出版特別委員会
10日 広報委員会
18日 事業委員会
23日 出版特別委員会
24日 広報委員会
25日 関東事業支部委員会

〔3月〕 1日 事業委員会
4日 出版特別委員会
11日 広報委員会 渉外委員会
13日 事業委員会全国会議
予定 22日 広報委員会
25日 関東事業支部委員会

寄贈図書(・印寄贈者)

・ (財)日本産業デザイン振興会	Gマーク制度25年のあゆみ	1/14	(財)日本産業デザイン振興会
・ ”	Gマーク商品集	”	”
・ (社)日本パッケージデザイン協会	日本広告技術協議会名簿	2/25	
・ (社)総合デザイナー協会	会員名簿	”	(社)総合デザイナー協会

JID創立25周年記念展開催準備始まる

58年度は当協会にとって創立25周年に当たります。この記念すべき年度を有意義に展開すべく各種の行事を計画していますが、この度、(社)国際家具産業振興会(小管一郎会長)の好意もあり同振興会が本年11月に開催する。第3回東京国際家具見本市の会場内に於いて、JID 25周年記念展を共催する方向で話し合いを進めています。

幸い当協会も多く多くの会員が家具産業を始めとするインテリア産業界と深くかかわりあいを持っていることでもあり、また国際的イベントの場である事、などからこの企画を積極的に進めています。

この東京国際家具見本市(INTERNATIONAL FUTURE SHOW TOKYO '83)会場に於いて下記の要領で開催を検討しています。

会 期 昭和58年11月23日(木)～11月27日(月)

場 所 晴海 国際貿易センター1号館～6号館

使用予定面積 50坪前後

JID 25周年記念展

・統一主題

“美、伝統、心”

・基本理念

すまい方の視点へ向けて。

すまいの中の場合と場合のデザイン、コミュニケーションとインテリアを中心にインテリアデザインを考える。

・キーコンセプト

1. インテリアの構成 — 道具とみたと、作法

2. 家具・什器 — しつらえ、もてなし、くつろぎ

3. 素材 ・ 色 — 風合い、肌合い、色目

4. 四 季 — 自然との対話、外部空間とのインテリア

5. 光 と 影 — 明り、燈り、灯り

6. 飾 り — 行事、祭事

・会場構成

第1ゾーン……JID 25年の歩みと現状を展示

第2ゾーン……統一主題にそったシンボル展示

第3ゾーン……会員により、公募テーマにそった作品をパネル及造形物によって展示

・会場内オープンセミナー

会期中に、統一主題にそったオープンセミナーを会場内で1～2回開催。

以上の形式で実施すべく事業委が中心となり、(社)国際家具振興会と調整を進めています。

つきましては、11月に向けて会員各氏の積極的参加をお願いしたいと思います。

また、統一主題、キーコンセプトにしたがった作品、パネルの募集(詳細及、出品費用等については明確になり次第発表)を行う事になりますので、主旨にご賛同いただける方は準備を進めていただければ幸いです。

(事業委員長 松山修治)

事務局短信

① 総会までのおよそのスケジュールが下記のように決定しました。

・ 3月31日(木) 委員長連絡会

・ 4月1日(金) 57・第7回理事会

- ・ 4月25日(月) 総会議案書会員に発送
- ・ 5月20日(金) 第15回通常総会を東京で開催
事業支部役員・委員の方、ご協力よろしくお願いいたします。

- ② 一部正会員および準会員の会費延納、滞納のため、財政状況は期末に到り極めて逼迫しています。未納の方には請求書を改めて発信していますが、特に過年度(昭和56年度以前)未納の方は大至急納入して下さい。
このままでは未納会員名をNEWSに載せる等、より効

率的な方法を検討しなければなりません。

- ③ IFI 国際インテリアデザイン会議(西独ハンブルグ市、5月24日～29日)に向けて、JID会員を中心にしたツアーのパンフレットがお手元に届いたことと思います。積極的にご参加下さい。申込は事務局まで。
- ④ 文芸美術国民健保のご案内を掲載いたしました。年度は4月1日～翌3月31日となっています。本年度は保健料額が据置きのこともあり、未加入の方は国保よりも有利な点をご検討の上、お申込み下さい。

(事務局)



IFI World Congress for Interior
Architecture Hamburg '83

期 間 : 1983年5月24日(火) ~ 5月29日(日)

場 所 : コンgress セントラム ハンブルグ
シービー ホテル プラザ

テーマ : 仕事 生活 ふたつの異った世界

ハンブルグ国際会議

シンポジウム :

◎身体障害者と老人のためのインテリア・デザイン

◎インテリア・デザインと省エネ・ソーラーエネルギー

◎インテリア・デザインと建築コストの削減

◎インテリア・デザインとD.I.Y.ハウジング

◎インテリア・デザイナー事務所の企画と設計

◎インテリア・デザインと共同プログラム

展 示 : ドイツ産業生産者による新製品、高品質製品の展示

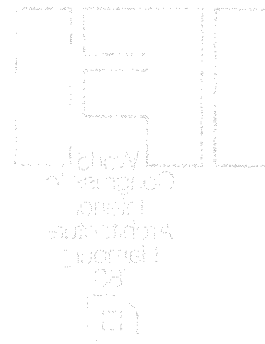
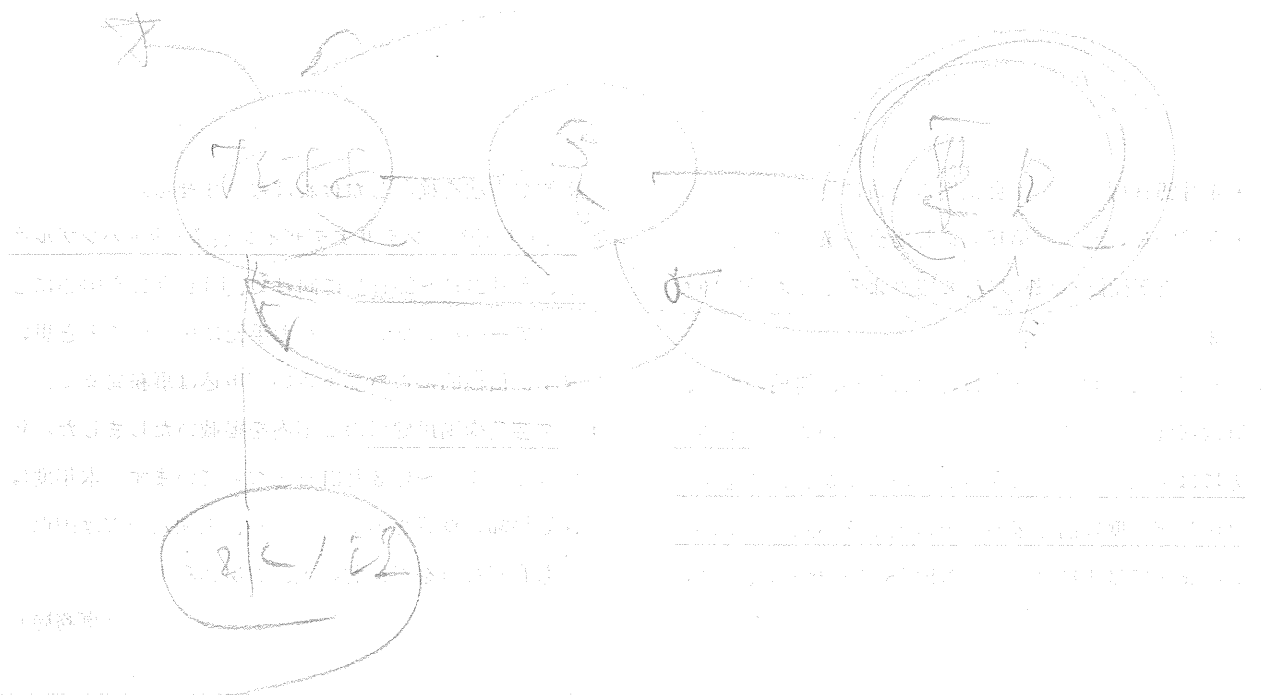
オリベッティ展示会(オリベッティ・デザインプロセス)

テクニカルヴィジット : Tour E-1 ~ Tour E-7

特別プログラム : F1 ハンブルグの議員の招待
レセプション (5月26日)

F2 サヨナラパーティー

(5月28日)



J I D NEWS 1983/2・3

(日本インテリアデザイナー協会月報 1983年通巻第120号)

毎月1回発行 価額 300円(送料とも)

編集・社団法人 日本インテリアデザイナー協会総務委員会

昭和58年3月25日発行

山口勇次郎・西沢圭三・竹森聖子・中村圭介・

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会

合田正甫・大和宏・平井美蔓・佐戸川清・塩田一夫

・高木敦子・安藤孚・山品元・新川佐知子・

柏原秀夫(関西)・溝口新(九州)・田村悠(中部)

印刷所・広洋印刷株式会社

振替・東京8-76389